

# 入 学 試 験 問 題 (1次)

## 数 学

令和4年1月24日 9時00分—10時20分

### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は表紙・白紙を除き9ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合は申し出ること。
- 3 解答には必ず黒鉛筆(またはシャープペンシル)を使用すること。
- 4 解答は、各設問ごとに一つだけ選び、解答用紙の所定の解答欄の該当する記号を塗りつぶすこと。
- 5 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消すこと。
- 6 監督員の指示に従って、問題冊子の表紙の指定欄に受験番号を記入し、解答用紙の指定欄に受験番号、受験番号のマーク、氏名を記入すること。
- 7 この問題冊子の余白は、草稿用に使用してよい。ただし、切り離してはならない。
- 8 解答用紙およびこの問題冊子は、持ち帰ってはならない。

受験番号					
------	--	--	--	--	--

上の枠内に受験番号を記入しなさい。





設問ごとに、与えられた選択肢の中から最も適当なものを一つだけ選び、解答用紙の該当する記号を塗り潰せ。

1 整式  $2x^3 + 7x^2 + 9x + 1$  を整式  $2x - 3$  で割ると、商が  $Ax^2 + Bx + C$ 、余りが  $D$  となる。

$\frac{D-A}{C} + B$  の値を求めよ。

Ⓐ 0	Ⓑ 1	Ⓒ 2	Ⓓ 3	Ⓔ 4
Ⓕ 5	Ⓖ 6	Ⓗ 7	Ⓘ 8	Ⓛ 9

2  $x = \sqrt{2} + \sqrt{6}$ ,  $y = \sqrt{2} - \sqrt{6}$  であるとき、 $A = \frac{x^9 - y^9}{x^6 - y^6}$  とする。

$\frac{5A}{34\sqrt{2}}$  の値を求めよ。

Ⓐ 0	Ⓑ 1	Ⓒ 2	Ⓓ 3	Ⓔ 4
Ⓕ 5	Ⓖ 6	Ⓗ 7	Ⓘ 8	Ⓛ 9

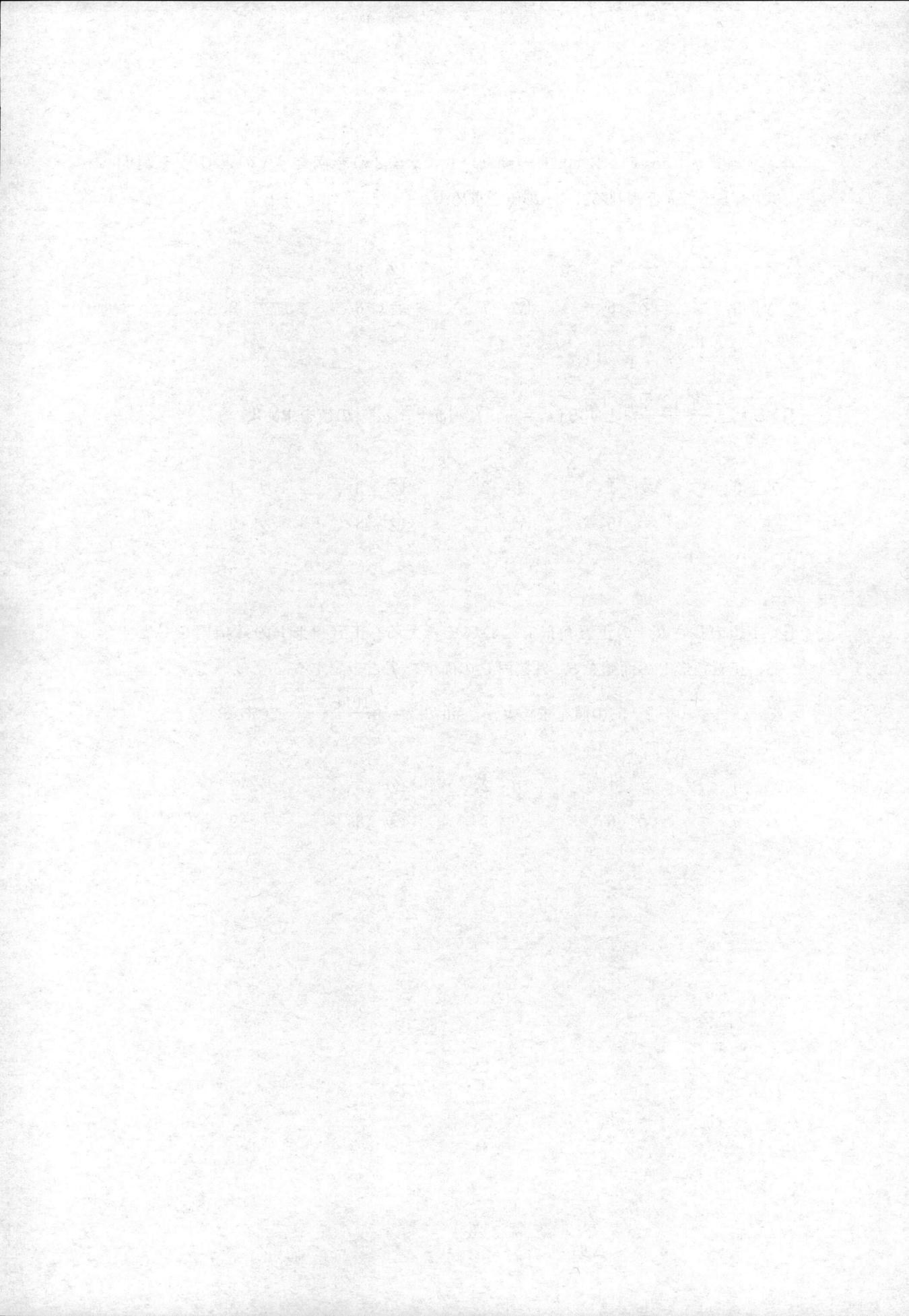
3 2つの数  $\alpha$ ,  $\beta$  を解とする2次方程式

$$x(x+1) + (x+1)(x+2) + (x+2)(x+3) + (x+3)(x+1) = 0$$

について考える。

$(\alpha+2)(\beta+2) = \frac{1}{k}$  であるとき、 $k$  の値を求めよ。

Ⓐ 0	Ⓑ 1	Ⓒ 2	Ⓓ 3	Ⓔ 4
Ⓕ 5	Ⓖ 6	Ⓗ 7	Ⓘ 8	Ⓛ 9



4 不等式  $\sqrt{3} \cos x \geq |2 \cos x - \sin x|$  ( $0 \leq x \leq 2\pi$ ) を満たす  $x$  のとりうる範囲は、 $a \leq x \leq b$  と表せる。 $\frac{b}{a}$  の値を求めよ。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⓐ 0 | Ⓑ 1 | Ⓒ 2 | Ⓓ 3 | Ⓔ 4 |
| Ⓕ 5 | Ⓖ 6 | Ⓗ 7 | Ⓘ 8 | Ⓛ 9 |

5  $\omega = \frac{-1 + \sqrt{3}i}{2}$  とする ( $i^2 = -1$ )。 $|\omega^{100} + \omega^{50}|$  の値を求めよ。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⓐ 0 | Ⓑ 1 | Ⓒ 2 | Ⓓ 3 | Ⓔ 4 |
| Ⓕ 5 | Ⓖ 6 | Ⓗ 7 | Ⓘ 8 | Ⓛ 9 |

6 1辺の長さが1の正五角形Pについて考える。正五角形Pの外接円をCとする。正五角形Pの面積をS、外接円Cの面積をTと表記する。

$\frac{T}{S} \cdot \frac{5}{\pi} \sqrt{10 + 2\sqrt{5}}$  の値を求めよ。 $\sin 72^\circ = \frac{\sqrt{10 + 2\sqrt{5}}}{4}$  である。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⓐ 0 | Ⓑ 1 | Ⓒ 2 | Ⓓ 3 | Ⓔ 4 |
| Ⓕ 5 | Ⓖ 6 | Ⓗ 7 | Ⓘ 8 | Ⓛ 9 |



7 座標平面上(原点をOとする)において、放物線  $C_1 : y = x^2$  上に点P(点Pのx座標は正の実数とする)、放物線  $C_2 : y = \frac{1}{2}x^2$  上に点Qをとることにする。 $\triangle OPQ$  の面積をSと表記する。

$\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OQ} = -\frac{1}{2}$  のとき、Sの最小値をmとする。 $2m^2$  の値を求めよ。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⓐ 0 | Ⓑ 1 | Ⓒ 2 | Ⓓ 3 | Ⓔ 4 |
| Ⓕ 5 | Ⓖ 6 | Ⓗ 7 | Ⓘ 8 | Ⓛ 9 |

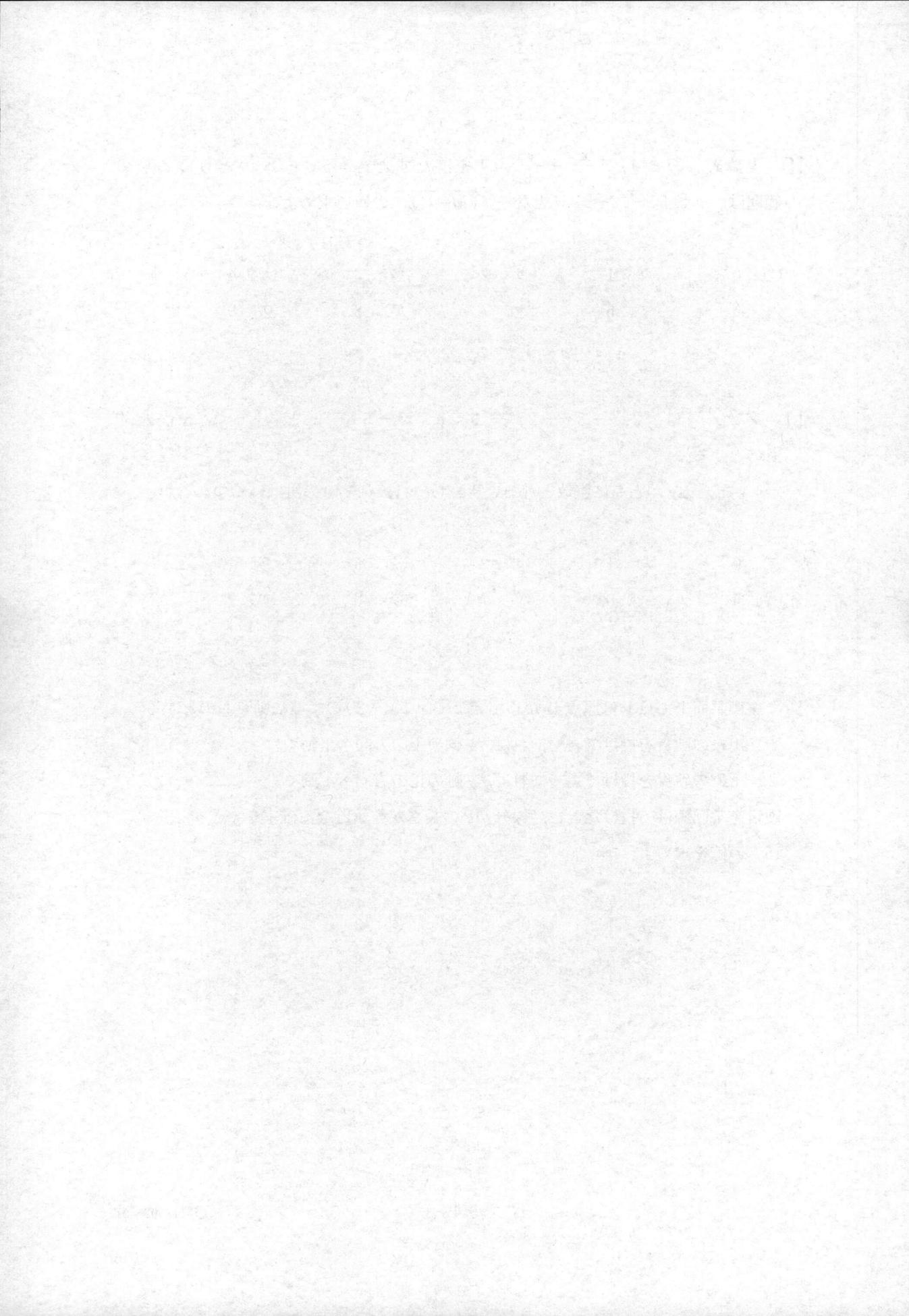
8 座標平面上(原点をOとする)において、円  $C : (x - 2)^2 + y^2 = 1$  上に点P(点Pのy座標は正の実数とする)、直線  $\ell : x = 0$  上に点Q(0, t)(tは正の実数とする)をとることにする。

$\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{QP} = 0$  を満たしながら点P、Qが動き、 $|\overrightarrow{OQ}|$  が最小となるときの  $\frac{5}{3} |\overrightarrow{OP}| |\overrightarrow{QP}|$  の値を求めよ。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⓐ 0 | Ⓑ 1 | Ⓒ 2 | Ⓓ 3 | Ⓔ 4 |
| Ⓕ 5 | Ⓖ 6 | Ⓗ 7 | Ⓘ 8 | Ⓛ 9 |

9 3つの点A(1, 2, -2), B(2, 1, 3), C(3, 4, 2)が定める平面ABC上に点P(0, 4, k)(kは実数)が存在するとき、 $|2k + 10|$  の値を求めよ。

- |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⓐ 0 | Ⓑ 1 | Ⓒ 2 | Ⓓ 3 | Ⓔ 4 |
| Ⓕ 5 | Ⓖ 6 | Ⓗ 7 | Ⓘ 8 | Ⓛ 9 |



10 実数  $x, y$  ( $y \geq 0$ ) が  $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{9} = 1$  を満たすとき,  $5x + 2y$  のとりうる値の範囲は,  $m \leq 5x + 2y \leq M$  となる。 $\sqrt{M^2 - m^2}$  の値を求めよ。

Ⓐ 0

Ⓑ 1

Ⓒ 2

Ⓓ 3

Ⓔ 4

Ⓕ 5

Ⓖ 6

Ⓗ 7

Ⓘ 8

Ⓛ 9

11 実数  $x, y$  は,  $2x^2 - 8x + 2y^2 - 1 < 0$ ,  $x^2 - 5x - y^2 + y + 6 < 0$  を満たすものとする。

$x + y$  と  $x - y$  がともに整数となるとき,  $(x + y, x - y)$  の組はいくつあるか。

Ⓐ 0

Ⓑ 1

Ⓒ 2

Ⓓ 3

Ⓔ 4

Ⓕ 5

Ⓖ 6

Ⓗ 7

Ⓘ 8

Ⓛ 9

12 座標平面上で点 P は原点 O から出発して, 1), 2) のように動くものとする。

1) 1 枚の硬貨を投げて表であれば,  $x$  軸の正の方向へ 1 動く。

2) 1 枚の硬貨を投げて裏であれば,  $y$  軸の正の方向へ 1 動く。

硬貨を 7 回続けて投げたとき, 線分 OP の長さが整数となる確率を  $k$  とする。

16  $k$  の値を求めよ。

Ⓐ 0

Ⓑ 1

Ⓒ 2

Ⓓ 3

Ⓔ 4

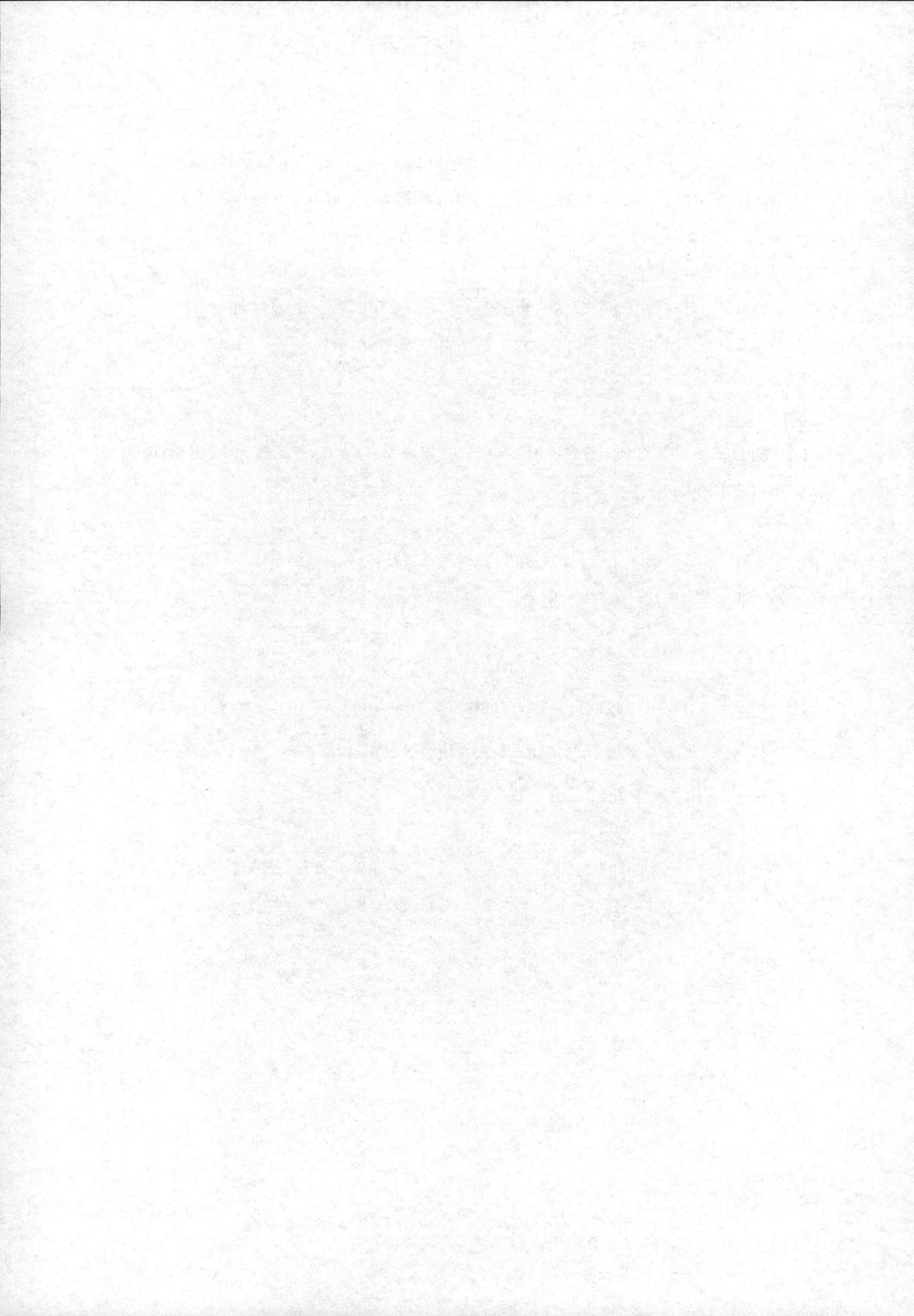
Ⓕ 5

Ⓖ 6

Ⓗ 7

Ⓘ 8

Ⓛ 9



13 曲線  $C: y = x^3 - 27x^2 + 231x + 10$  と直線  $\ell: y = mx + m - 249$  ( $m$  は実数) は、点 A で接し、点 B で交わる。点 A の  $x$  座標を  $\alpha$ 、点 B の  $x$  座標を  $\beta$  ( $\alpha$  と  $\beta$  は実数、 $\alpha > \beta$ )としたとき、 $\frac{2m}{\alpha} + \beta$  の値を求めよ。

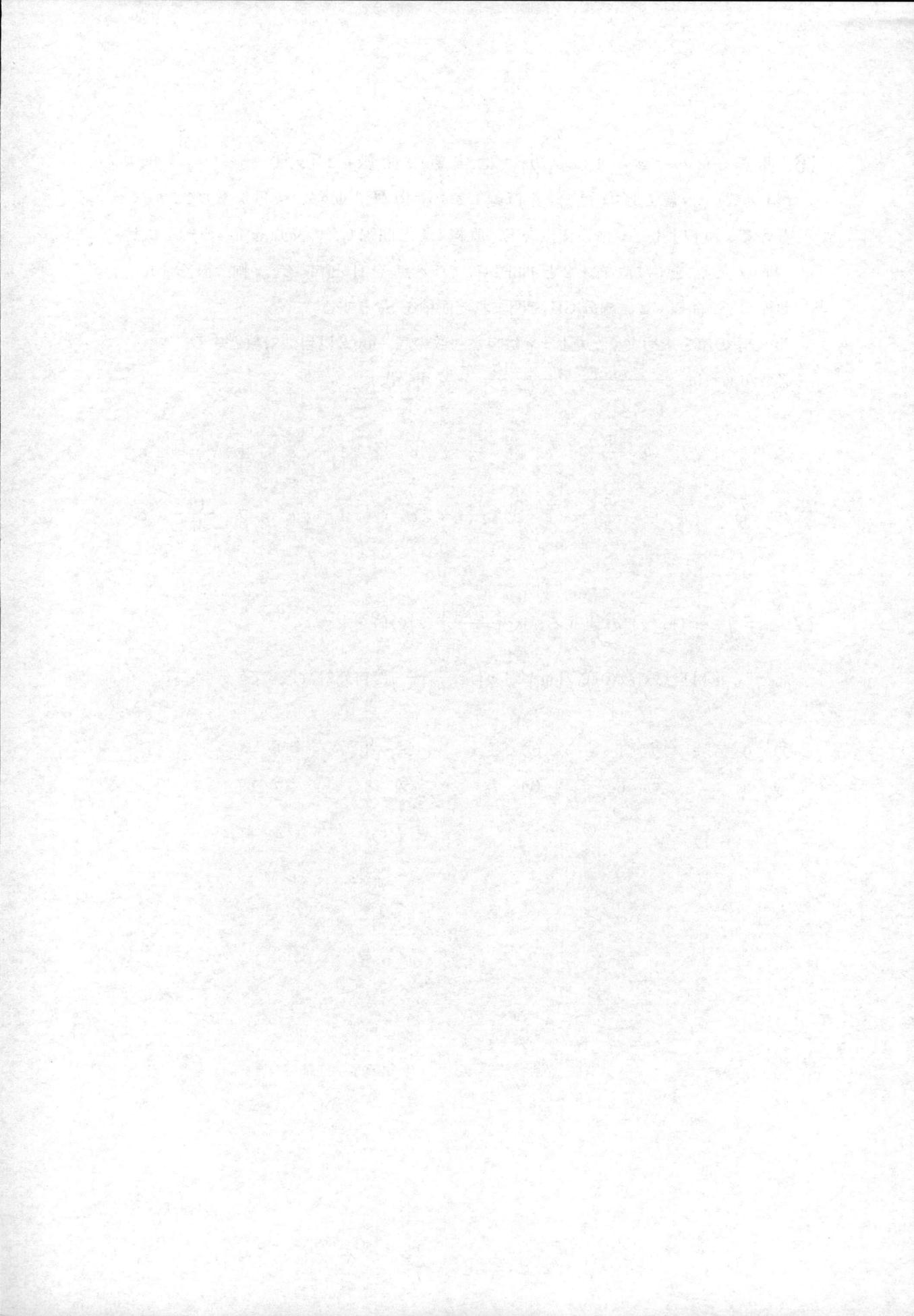
- Ⓐ 0 Ⓑ 1 Ⓒ 2 Ⓓ 3 Ⓔ 4  
Ⓑ 5 Ⓑ 6 Ⓒ 7 Ⓓ 8 Ⓔ 9

14 関数  $y = 8^x + 8^{-x} - 5(4^x + 4^{-x}) + 6(2^x + 2^{-x}) + 5$  ( $x \geq 1$ ,  $x$  は実数) の最小値を求めよ。

- Ⓐ 0 Ⓑ 1 Ⓒ 2 Ⓓ 3 Ⓔ 4  
Ⓑ 5 Ⓑ 6 Ⓒ 7 Ⓓ 8 Ⓔ 9

15  $-\pi \leq x \leq \frac{\pi}{2}$ において、2つの曲線  $C_1: y = \sin x$ ,  $C_2: y = -\frac{4}{3\pi^2}x^2 + \frac{4}{3}$  に囲まれた面積を  $S$  とする。  
 $S - \frac{3}{2}\pi$  の値を求めよ。

- Ⓐ 0 Ⓑ 1 Ⓒ 2 Ⓓ 3 Ⓔ 4  
Ⓑ 5 Ⓑ 6 Ⓒ 7 Ⓓ 8 Ⓔ 9



16 曲線 C1 :  $y = e^x - 1$  ( $x > 0$ ,  $x$  は実数), 曲線 C2 :  $y = \frac{1}{e^x - 1}$  ( $x > 0$ ,  $x$  は実数), 直線 L1 :  $x = \frac{1}{2}$ , 直線 L2 :  $x = k$  ( $k > \log 2$ ,  $k$  は実数)について考える。直線 L1 と  $x$  軸の交点を E, 直線 L1 と曲線 C1 の交点を F, 直線 L2 と  $x$  軸の交点を G, 直線 L2 と曲線 C2 の交点を H とする。 $x$  軸, 線分 EF, 曲線 C1, 曲線 C2, 線分 GH で囲まれた面積を  $S_k$  とする。

$\lim_{k \rightarrow \infty} S_k$  の値を求めよ。ただし,  $e$  は自然対数の底,  $\log 2$  は自然対数とする。

必要があれば,  $-\frac{1}{e^x - 1} = \frac{e^x - 1 - e^x}{e^x - 1}$  を用いよ。

$$\textcircled{⑦} \quad \frac{7}{2} + \sqrt{e} \quad \textcircled{⑧} \quad \frac{5}{2} + \sqrt{e} \quad \textcircled{⑨} \quad \frac{3}{2} + \sqrt{e} \quad \textcircled{⑩} \quad 1 + \sqrt{e} \quad \textcircled{⑪} \quad \frac{1}{2} + \sqrt{e}$$

$$\textcircled{⑫} \quad \frac{7}{2} - \sqrt{e} \quad \textcircled{⑬} \quad \frac{5}{2} - \sqrt{e} \quad \textcircled{⑭} \quad \frac{3}{2} - \sqrt{e} \quad \textcircled{⑮} \quad 1 - \sqrt{e} \quad \textcircled{⑯} \quad \frac{1}{2} - \sqrt{e}$$

17  $S = \int_1^{e^3} x^2 (\log x)^2 dx$  とする。 $\log\left(\frac{27S+2}{65}\right)$  の値を求めよ。

ただし,  $e$  は自然対数の底,  $\log x$ ,  $\log\left(\frac{27S+2}{65}\right)$  は自然対数とする。

$$\textcircled{⑦} \quad 0 \quad \textcircled{⑧} \quad 1 \quad \textcircled{⑨} \quad 2 \quad \textcircled{⑩} \quad 3 \quad \textcircled{⑪} \quad 4$$

$$\textcircled{⑫} \quad 5 \quad \textcircled{⑬} \quad 6 \quad \textcircled{⑭} \quad 7 \quad \textcircled{⑮} \quad 8 \quad \textcircled{⑯} \quad 9$$



次の文章を読み、以下の問い合わせ(問題 **18** ~ **21**)に対する選択肢から最も適当なものを一つだけ選べ。

関数  $y = \sin x + \sqrt{3} \cos x + \sin x \cos x + \frac{\sqrt{3}}{3} \cos^2 x$  ( $0 \leq x < 2\pi$ ) の

最大値( $M$ )と最小値( $m$ )について考える。

I  $t = \sin x + \sqrt{3} \cos x$  とおくと、 $t = A \sin\left(x + \frac{\pi}{3}\right)$  とすることができる。

$A = \boxed{18}$  である。

**18**

Ⓐ 0

Ⓑ 1

Ⓒ 2

Ⓓ 3

Ⓔ 4

Ⓕ 5

Ⓖ 6

Ⓗ 7

Ⓘ 8

Ⓛ 9

II 関数  $y = \sin x + \sqrt{3} \cos x + \sin x \cos x + \frac{\sqrt{3}}{3} \cos^2 x$  ( $0 \leq x < 2\pi$ ) を  $t$  の式で

表記すると、 $y = \frac{\sqrt{3}}{6} (t + B)^2 - C$  となる。

$B = \boxed{19}$ ,  $C = \boxed{20}$  である。

**19**

Ⓐ 0

Ⓑ 1

Ⓒ  $\sqrt{3}$

Ⓓ  $2\sqrt{3}$

Ⓔ  $3\sqrt{3}$

Ⓕ  $\sqrt{6}$

Ⓖ  $2\sqrt{6}$

Ⓗ  $3\sqrt{6}$

Ⓘ 8

Ⓛ 9

**20**

Ⓐ 0

Ⓑ  $\frac{1}{2}$

Ⓒ  $\frac{\sqrt{3}}{2}$

Ⓓ  $\frac{2\sqrt{3}}{3}$

Ⓔ  $3\sqrt{3}$

Ⓕ  $\frac{\sqrt{6}}{2}$

Ⓖ  $\frac{2\sqrt{6}}{3}$

Ⓗ  $\sqrt{6}$

Ⓘ 3

Ⓛ 6

卷之三

四

卷之三

卷之三

III  $|3m + 4M|$  の値は **21** となる。

**21**

Ⓐ 0

Ⓑ 1

Ⓒ 2

Ⓓ 3

Ⓔ 4

Ⓕ 5

Ⓖ 6

Ⓗ 7

Ⓘ 8

Ⓛ 9

次の文章を読み、以下の問い合わせ(問題 **22** ~ **25**)に対する選択肢から最も適当なものを一つだけ選べ。

初項が  $a$  ( $a$  は正の整数)、公差が 3 の等差数列  $\{a_n\}$  ( $n$  は自然数)について考える。

この等差数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。 $S_n = 4095$  であるとき、以下の設問に答えよ。

I  $S_n$  は **22** と表すことができる。

**22**

Ⓐ  $n(2a + 3n)$

Ⓑ  $n(2a + 3n - 1)$

Ⓒ  $n(2a + 3n - 2)$

Ⓓ  $n(2a + 3n - 3)$

Ⓔ  $n(2a + 3n - 4)$

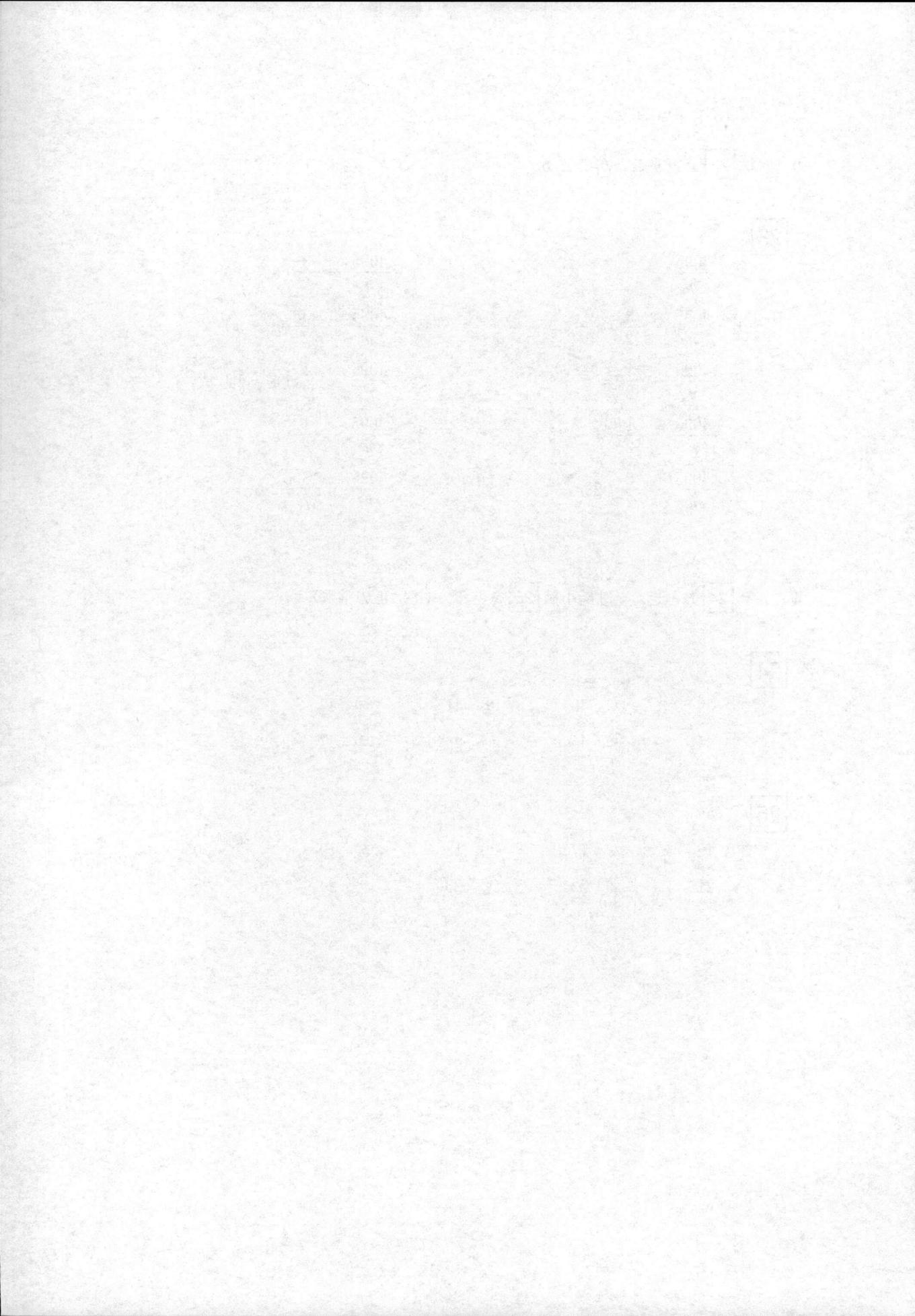
Ⓕ  $\frac{n}{2}(2a + 3n)$

Ⓖ  $\frac{n}{2}(2a + 3n - 1)$

Ⓗ  $\frac{n}{2}(2a + 3n - 2)$

Ⓛ  $\frac{n}{2}(2a + 3n - 3)$

Ⓜ  $\frac{n}{2}(2a + 3n - 4)$



II  $a$  は **[23]** と表すことができる。

**[23]**

Ⓐ  $\frac{4095}{n} - \frac{3}{2}n$

Ⓑ  $\frac{4095}{n} - \frac{3}{2}(n-1)$

Ⓒ  $\frac{4095}{n} - \frac{3}{2}(n-2)$

Ⓓ  $\frac{4095}{n} - \frac{3}{2}(n-3)$

Ⓔ  $\frac{4095}{n} - \frac{1}{2}n$

Ⓕ  $\frac{4095}{n} - \frac{1}{2}(n-1)$

Ⓖ  $\frac{4095}{n} - \frac{1}{2}(n-2)$

Ⓗ  $\frac{4095}{n} - \frac{1}{2}(n-3)$

Ⓘ  $\frac{4095}{n} - \frac{3}{2}(2n-1)$

Ⓙ  $\frac{4095}{n} - \frac{3}{2}(2n-3)$

III  $n = \boxed{24}$  のとき,  $a$  は最小値 **[25]** をとる。 $(a$  は正の整数)

**[24]**

Ⓐ 39

Ⓑ 40

Ⓒ 41

Ⓓ 42

Ⓔ 43

Ⓕ 44

Ⓖ 45

Ⓗ 46

Ⓘ 47

Ⓛ 48

**[25]**

Ⓐ 16

Ⓑ 17

Ⓒ 18

Ⓓ 19

Ⓔ 20

Ⓕ 21

Ⓖ 22

Ⓗ 23

Ⓘ 24

Ⓛ 25

